

講演と座談

夕張

炭鉱の歴史と記憶

2022年12月3日(土)

13時30分 - 17時00分 ※開場13時

場所：北海道大学国際広報メディア観光学院棟407室

(大変わかりづらい場所にあります。初めて来られる方はマップで事前に調べてからお越しください)

オンライン参加の場合は、Zoomアプリをダウンロードの上、ミーティングID: 871 6337 7079、
パスコード: 901864を入力して入室してください。下記QRコードを読み取って入室することもできます。

第一部 (13時30分-14時40分)

講演「夕張 炭鉱の歴史と記憶」

青木隆夫氏(夕張地域史研究資料調査室)



休憩 (14時40分-15時00分)

第二部 (15時00分-17時00分)

座談「夕張と炭鉱の記憶をどうつないでいくか」

「鹿之谷ゼミナール」100回の振り返りの後、交えて話し合いをもちます。

司会：白崎弘泰(北大国際広報メディア観光学院研究員)、鈴木里奈(同博士後期課程)



倉持桃林子作「夕張第二鉱総合練込み所」

夕張にて十年にわたって続けられてきた勉強会「鹿之谷ゼミナール」が本年10月をもって100回を迎えました。100回を記念して、同ゼミナールを中心的に担ってきた青木隆夫さん(夕張地域史研究資料調査室)をお迎えして、下記の通り、講演と座談の場を設けます。

会は二部に分け、前半の青木さんの講演を受けて、後半では若い世代の司会進行により、夕張、そして炭鉱の歴史と記憶をどうつないでいくのか、参加者を交えて話し合います。

オンラインでも配信をいたしますので、ぜひご参加ください。

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院東アジアメディア研究センター
連絡先・渡邊浩平 011-706-5283 koheiw@imc.hokudai.ac.jp

鹿之谷ゼミナール
一〇〇回記念